

【注意事項】

●異常値

取水ポンプの停止、停電等で、観測値が異常値（ゼロやマイナス値など）になることがあります。異常値は、随時除去していますが、観測して間もないデータには、除去できていない異常値が含まれている場合があります。

●平年値

平年値は、過去のデータのうち午前 10 時の観測値を平均しています。

本来平年値の変動は滑らかになるはずですが、欠測などにより平年値を計算する元データ数が少ない場合など、日によっては、その部分の平年値変動が滑らかになっていない場合があります。

●水研-鳴門庁舎の観測値

鳴門庁舎の観測値には、**おおよそ 1 日 2 周期**の観測値の変動がみられることが多いのですが、この変動は、次の理由で起こっています。

鳴門庁舎は、2 つの灘（播磨灘と紀伊水道）を結ぶ小鳴門海峡に位置します。小鳴門海峡は、潮汐によって 2 つの灘から起源の異なる海水が流れ込みます。両灘の水温など、水質情報が異なる場合にこのような変動がみられます。

●硝酸塩濃度値変化の不連続（値のギャップ）

紫外線の吸光度を元に硝酸塩濃度を推定していますが、濁りなどの影響によって生じる“実際の濃度（分析値）”と“観測値”との間の誤差を補正しています。補正のための計算式は、海水に含まれる成分の季節変動等で変わりますが、適用する補正式を変えた時に、（補正後の）値の変化が不連続になることがあります。

このような値のギャップができるだけ小さくなるよう、補正式の見直しを随時行いますが、補正に必要な硝酸塩の分析値のデータが少ない場合、値のギャップを完全に除去できないことをご了承ください。